



なのみ通信



令和6年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 2月10日 第13号

自ら楽しみを創る子どもの育成

1月28日に、新一年生入学説明会を行いました。保護者の方へ説明している間は、5年生が新一年生のお世話をします。写真は、新一年生に「な・の・み」の意味を説明している様子です。頼もしい5年生です。



メディアとの上手な付き合い方



なればと思います。

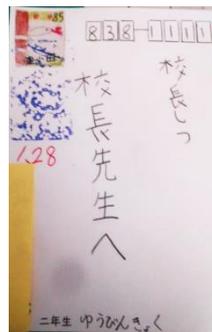
現在、多くの子どもたちが手にするようになったスマートフォンは、自分にとって必要な情報を得ることできる道具であり、自分のために使う道具です。けっして人を傷つけたりする道具ではありません。講演では、ネット上で傷つけられた側は一生忘れられないこととなり、いったんあげた画像等の情報は、世界中に拡散され、すべて削除されることはできないこと等、スマートフォンを使う私たち自身がどのように使っていくか、自分自身で判断していかなければならないと話していただきました。

様々な情報を得ることができたり、他者と交流ができたりするメディア(スマートフォン等)は、私たちの社会をよりよくする道具です。一方で、利用する私たちの「付き合い方」が問われています。自分のために使うこと、コミュニケーションツールとして、相手のことを深く考え想像することが大事になります。ご家庭でも「メディアとの付き合い方」について、話題にしていただけたら幸いです。

届けてくれた「私」のメッセージ ～ 2年生 ゆうびんきょく(生活科) ～

生活科の学習で、2年生の子どもたちが「2年生 ゆうびんきょく」に取り組みました。子どもたちは「はがき・切手・ポスト・消印・仕分け・配達・お知らせ」の7つのグループに分かれて郵便業務を体験しました。校内のあちこちに置かれたポスト。回収、仕分け、配達する子どもたちは、自分の役割に責任を持ち、生き生きと楽しそうに取り組んでいました。

最近、ハガキや手紙を書いて、他者とやりとりすることが少なくなりました。相手のことを想像しながら、自分の気持ちをハガキに書き、それを届けてくれる2年生配達員さん。互いの気持ちを伝え合う「ゆうびんきょく」の仕事を経験する中で、「だれかの役に立っている」「よろこんでくれている」という実感は、働くことの意味を学んでいるのだと思います。また、スマートフォンでのコミュニケーションも含め、ハガキや手紙で気持ちを伝えることは、相手のことを想像すること、感謝や励ましの言葉を伝えることなど、自分や友だちを大切に作る心の育成にもつながります。互いのことを想像し、感謝や励ましの言葉を伝えられる関係が家庭や学校で育んでいけたらと思います。



6年生の卒業に向けて...

児童昇降口のエレベータ付近に設置された、卒業までのカウントダウンモニターは、5年生の子どもたちが、卒業プロジェクトの1つとして毎日更新しています。今、5年生の子どもたちは、卒業プロジェクトとして、いくつかのグループに分かれて取り組んでいます。これまで、学校を引っ張ってくれた6年生への感謝の気持ちを学校全体で膨らませていきたいと思っています。6年生の姿をみてきた5年生。この5年生の姿に、最上級生になる自覚を感じます。

